最近の動向
Horizon 2020(以下H2020)の概要

H2020とは

- 2014年から開始されるFP7の後継フレームワークプログラム
- FP7と同様に、7年間（2014～20）の方向性を規定

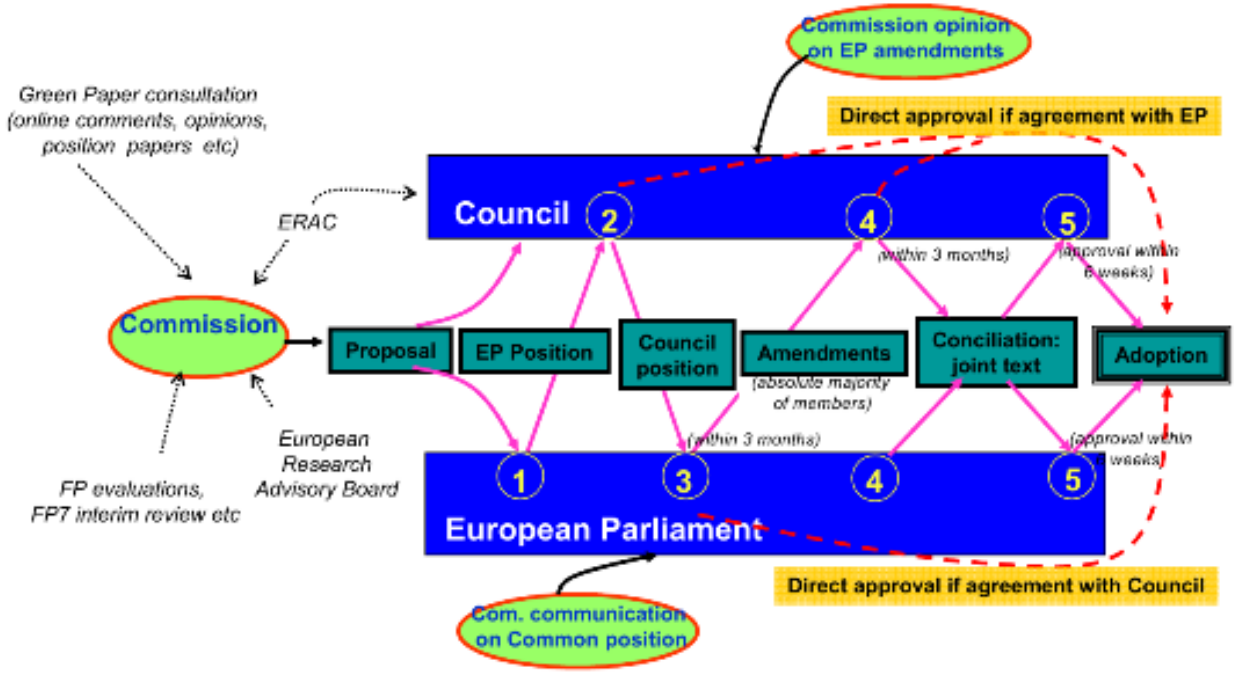
- 上位政策であるEurope 2020（2010年に発表されたEUの中期成長戦略。以下、E2020）のフラッグシップ・イニシアチブのうち、イノベーションユニオンを推進

- 全体の予算は、FP7（532億€）に比べ大幅な増額（702億€）
  - ただし、研究開発関連予算は、FP7時と同等程度かやや減少するという声もある
- H2020=FP8＋α。αの部分には、競争・イノベーションフレームワークプログラム（CIP）、欧州工科研究院（EIT）が含まれる

→イノベーションを強く意識したプログラム構成になっている

検討の過程

時期	イベント
2011年2～5月	パブリックコメントの実施（プログラムに対するニーズを、域内外から聴取）
2011年11月	欧州委員会から欧州議会および欧州理事会へ提案
～	下図のプロセス（11～12月に欧州理事会で採択の予定）
2014年1月	プログラム開始予定（12月11日の公募開始を目指し、現在準備中）



H2020の背景と目的

- E2020：3つのプライオリティと7つのフラッグシップイニシアチブ
  - スマートな成長
    - 1. デジタルアジェンダ、2. イノベーションユニオン、3. 若者の支援
  - 持続可能な成長
    - 4. 資源効率の高い社会、5. 国際化に対応した産業政策
  - 包括的な成長
    - 6. 新しいスキルと仕事、7. 貧困対策プラットフォーム
- E2020とH2020との関係
  - E2020のうち、イノベーションユニオンを推進するためのファンディングの枠組みがH2020であるという関係
  - E2020のデジタルアジェンダに含まれるICT関連の研究・イノベーションプロジェクトもH2020に含まれる
- H2020の目的
  - 研究の成果を、イノベーション・経済成長・雇用につなげる

H2020のプライオリティ①卓越した科学

約246億ユーロ

- 欧州研究会議
  - 特に優れた個人やチームを支援
  - 予算額が従来より77%増額され、132億ユーロに
- FETs（Future and Emerging Technologies）
  - 新しくかつ有望な分野の連携研究を支援
  - FET Flagshipsでは、10年間で1プロジェクトあたり（計2プロジェクト）10億ユーロという大規模な資金提供で注目を集めた
- マリーキュリーアクション
  - 研究者へのキャリア支援に取り組む
- 欧州研究インフラ
  - 欧州域内外からアクセス可能な先端施設の整備